

学校の教育目標

知・徳・体の調和のとれたたくましい子どもを育成する。

教育課題

- ①思いやりがない短絡的な行動にでる生徒が多い
- ②思考力に関する学力に課題がある

経営課題

- ①教育課程の質と量の管理
- ②教職員の指導力(学習指導・生徒指導・学級経営)の向上
- ③校種間連携や地域連携の推進

中期的な教育目標

自分で考え判断・実践し、望ましい人間関係を構築できる生徒の育成

経営方針

- 1 教育活動
 - 凡事徹底
 - ・学習用具の準備・チャイム席の徹底
 - ・定着するまでの徹底指導
 - 家庭学習につながるまとめのある授業実践
 - 学校行事における生徒の主体的活動の推進
- 2 組織運営
 - 学習指導部、特別支援教育部、生徒指導部、健康教育部の機能の充実と運営委員会との連携推進(ラインの明確化)
- 3 教育環境
 - 個別の指導・支援の充実
 - 学習の系統性がわかる掲示物の工夫
 - 「めあて」から「まとめ」までが一目瞭然でわかる板書の工夫
 - ユニバーサルデザインを意識した板書の実践
- 4 人材育成
 - ・若年研修を活用した校内研修の活性化
 - ・積極的な校外研修へ参加

重点目標

思いやりを持った共感的人間関係を築くことができる生徒の育成

教育課程編成の基本方針

- 重点目標達成をめざし次のように編成する
- 1 教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動の関連と調和のとれた教育課程編成
 - 教科
 - ・わかる授業づくり
 - ・知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力のバランスのとれた年間指導計画の作成
 - ・生徒の実態に応じた個に応じた指導の充実
 - 道徳
 - B-主として人との関わりに関すること「友情, 信頼」「相互理解, 寛容」
 - C-主として集団や社会との関わりに関すること「遵法精神, 公德心」
 - 総合的な学習の時間
 - 課題設定→情報収集(探求)→まとめ→発表(表現)の学習過程を基本に、自分の考えをまとめ書くことで表現する力を重点的に培う。
 - 特別活動
 - 小集団活動を育む視点から、各活動と行事において、以下の内容を重点化する。
 - 学級活動: 多様な集団生活の向上
 - 生徒会活動: 主体的な組織づくりと運営
 - 学校行事: 公衆道徳などについての体験
 - 2 教育活動全般に共通した配慮事項
 - 生徒指導の充実
 - 「自己決定・自己存在感・共感的人間関係」を念頭においた積極的生徒指導の推進と「いじめ防止」の共通実践
 - キャリア教育の充実
 - 高校卒業後の進路選択をすることができる教育課程の構築

経営の重点

- 1 教育活動
 - 共感的人間関係を育成する支援を工夫する
 - ・「自分が受け入れられている」と実感できる雰囲気をつくる
 - ・「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気をつくる
 - 学力向上に向けて
 - ・自分の考えを文章で表現し説明する活動がある授業づくり
 - ・考え論議する活動を取り入れた授業づくり(小集団の活用)
 - ・見崎中自学ノート(振り返り→自学)の徹底
- 2 組織運営
 - 主幹教諭、主任・主事が中核となった提案型の校務運営
- 3 教育環境
 - 主体的生徒活動の推進
 - ・重点目標及びその達成状況を生徒が意識できるようにする

研究主題

主体的に自己の生き方を考える生徒を育てる道徳科学習指導
～考え論議する活動を通して～